



★平戸市民病院



今月は私達3名が平戸市民病院で研修させていただきました。普段勤務している病院と大きく違うことは、

病院から外に出て行く機会が多いという点でした。高齢者の多い地域の特性を考慮し、特に予防医学に力を入れていると感じました。また、医療スタッフが自ら地域に出て行くことで患者さんとより厚い信頼関係が生まれ、患者さん一人ひとりの生活環境を考慮した医療の実践が出来ていると感じました。先生方をはじめ、病院スタッフの皆様、地域の方々に支えられ、とても充実した一ヶ月となりました。業務以外にも、平戸の自然に癒され、美味しい海の幸や地酒、平戸の歴史にも触れることが出来ました。一ヶ月間、本当にありがとうございました。

中園 美紗子 (横浜労災病院)

島貫 茉莉江 (横浜市民病院)

横山 明弘 (長崎大学病院)

自主合宿♪



★生月病院

2014年8月。広く澄んだ海と空

に囲まれるこの生月に、神戸(佐野)と横浜(佐藤)から2人の研修医がやってきた。全身黒光りし、チリチリパーマでbaby faceの佐野医師は、

泌尿器科志望。彼は外見から、8月下旬まで島民からケニア人だと勘違いされていた。神経科志望の佐藤医師は、



大の釣り好き。外来で患者から釣りのポイント、仕掛け、餌のアナムネをとっていたことは秘密である。そんな僕らは、すぐに意気投合し、島の医療に従事した。上級医の指導を仰ぎながら、多くを経験し、地域とその医療について学んだ。改めて、病院関係者、島民の方々(スナックのママさん、お姉さん、食堂のきれいなお姉さん、スーパーのレジのきれいなお姉さん、他多数)に感謝致しております。人生で忘れることのない充実したひと月であった。



佐藤 健朗 (横浜労災病院)

佐野 貴紀 (神鋼病院)

★青洲会病院

青洲会病院は地域に密着した病院で、一人の患者さんを急性期から回復期、在宅医療まで診ることが出来、施設の併設もされているため患者さん、



家族と一緒に個々の生活をサポートしています。医師としての診療だけでなく、コメディカルの業務も一緒にさせて頂く機会を多く与えていただき、様々な職種が患者さんの目標(在宅復帰、残存機能維持など)にあった医療を提供しようと努力する姿を目の当たりにしました。訪問診療、看護、リハビリは患者の日常を支える大切な医療であり、離島訪問はそれに優るものがありました。一か月間、自然に恵まれた環境の中、貴重な体験をさせていただき充実した日々を過ごすことができました。ありがとうございました。

小山 倫太郎 (福岡青洲会病院)

柴山 奈穂子 (静岡済生会病院)

★柿添病院

柿添病院で

1か月研修させて頂きました。柿添病院では離島への訪問リハビリや在宅総合診療、留置所検診など普段経験することが出来ない多くの経験をすることが出来ました。在宅総合診療では、平戸における過疎化や老老介護の現状を強く実感し、このような地域が多く存在し増加し続けている日本では地域医療にあたる医師がもっと増加しなければならぬと感じました。自分達もいつかは地域医療に携われたらと思います。



研修を通してお世話になった多くの方々本当にありがとうございました。

新田 拳助 (九州中央病院)

坂口 拓夢 (西神戸医療センター)

